

生物多様性いちかわ戦略（平成 26 年 3 月策定）の推進について

1. 目的

大切な自然環境を将来の世代に伝えるとともに、地域の自然に根差した文化や人々の共同意識など、自然を軸とした様々なつながりの形成を進めていく。

2. 目標年次

市の総合計画や「生物多様性国家戦略」との整合を図り、3つの目標年次を設定し、段階的な目標を定めた。

(1) 短期目標〔2020年〕

□生物多様性の配慮を市の施策に浸透させる。

(2) 中期目標〔2025年〕

□国・県・近隣市と連携し、あらゆる公共事業に生物多様性についての配慮を反映させる。

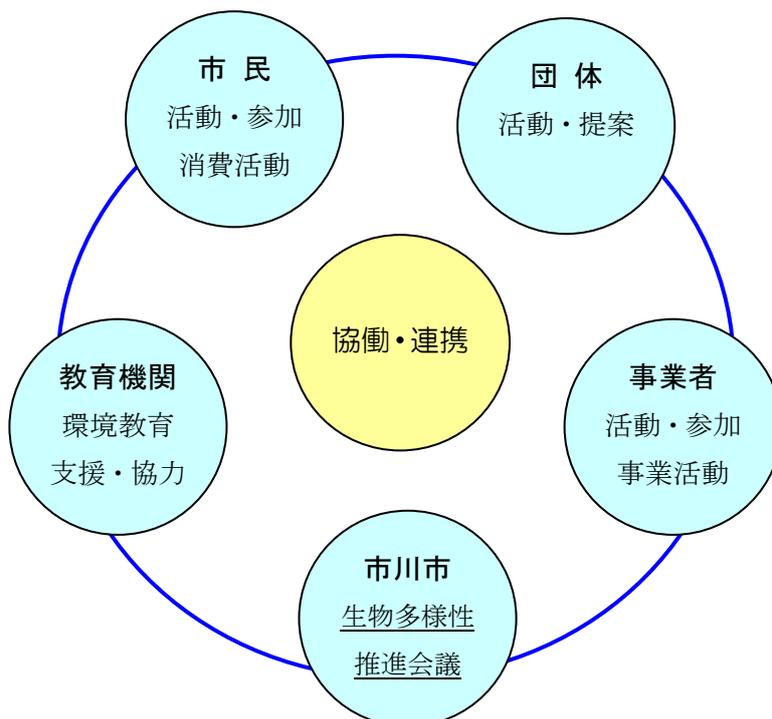
(3) 長期目標〔2050年〕

□市民生活、事業活動、土地利用から、国・県・市の行政活動等のあらゆる場面に生物多様性への配慮を浸透し、定着させる。

3. 体系



4. 推進体制



5. 進捗状況

	施策	指標	2015 年度実績	2020 年度目標 * ()内は2013年度実績
①	民有樹林地の 保全協定の維持	協定山林の面積	38.1ha	2013 年度実績の 維持 (38.8ha)
②	市街地の緑地の 保全	都市緑地の面積	69.94ha	2013 年度比増 (57ha)
③	外来生物対策	アライグマの 侵入状況	捕獲 3 頭 交通事故死体 2 頭	生息しない状態を 維持
④	都市農地の保全	生産緑地の指定面積	95.74ha	2013 年度実績の 維持 (99.5ha)
⑤	社寺林と周辺緑地 の保全	特別緑地保全地区	3 地区 2ha	3 地区 2ha
⑥	巨樹や巨木の保全	保存樹木協定本数	178 本	200 本
⑦	市民ボランティア による緑地や山林 の保全	保全緑地の状況	16 か所	2013 年度比増 (11 か所)
⑧	市民と市民ボラン ティアとの交流の 場の提供	エコギャラリーの 参加団体数	13 団体	20 団体
⑨	生物多様性に 関する知識の普及	講座への参加者数	年間 145 人	年間 200 人
⑩	消費活動における 生物多様性への 配慮	いちかわ戦略の市民 認知度	20%	50%
⑪	再生可能エネルギ ーの普及	住宅用太陽光発電 システムの普及件数	3,244 件	5,000 件
⑫	子どもたちが自然 や文化に触れ合え る機会の提供	自然体験学習の 実施学校数	56 校	実施体制の維持

6. 主な事業

(1) 生物多様性モニタリング事業

市内の自然環境の状況を、市民・環境団体・事業者等の協力を得て調査し、市の公式 Web サイト「いちかわ生きものマップ」で公表する

- ①調査員 市民：49 人 団体会員：26 人 事業者：5 人
- ②調査方法 指標生物の確認数を集計し、自然環境の現況を把握
- ③調査結果 草地の減少、市の代表的な環境は里山・市街地 (H27 年度)

(2) 多様な主体との協働による取り組み

- ①自然環境講座
- ②生物多様性セミナー
- ③緑地関連事業